



安善寺の総代・世話会の様子

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤龍弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・小林善秋・高橋潔・加瀬由紀子
室賀清輝・近藤マリ子・高橋利香・近藤善信
後援・株式会社アサヒ
印刷・(株)北越時報社

ご家族の皆さままでご覧ください

迎春

今年も宜しくお願い申し上げます

翠巖龍弘合掌

「楽しみは極むべからず、
楽しみ極まれば哀しみ生ず。
欲は縦にすべからず、欲を
縦にすれば災いを成す」(樂
しみを最大限に尽くそうと
してはいけない。楽しみ
の極まったあとには必ず悲哀
が待ち受けている。欲望を
思う存分に満たそうとして
はいけない。度を過ぎて
災いを招くことになる)

もとより、楽しみは人生
には大事なものであり、欲
があるから進歩もあります。
しかし、度が過ぎると感激
が失われたり、自然を破壊
することもあり、他人や自
身をも不幸に向かわせてし
まいがちです。日本に於て
も昨秋より多数の失業者や
新卒予定者の内定取り消し
が相次ぎ、社会問題になっ
ております。

冒頭の漢詩に改めて昔も
現代も人間は同じ過ちを犯
すものと深く反省させられ
ると同じに、現在まで伝えら
れる名言や歴史を顧みるこ
との重大さに感じ入ります。
前、大本山總持寺貫首、
現、越前市の御誕生寺住職
の板橋興宗禪師の「和尚ニ
ヤンコと語る」の日捲りカ
レンダーに「流行にのらず
自分の流れをつくれ」とい
う言葉が載っております。
今日こそ、私共は風潮に流
されず、自分でよく考え、自
信を持って歩んでいくこと
が大切ではないでしょうか。

右記の名言は今から千三
百八十年程前に亡くなった
唐代の張盭古の「大宝箴」
『古文真宝後集』巻五に書か
れている漢詩です。

貧しい時代でもあり、食
べ盛りの若者が多い中、誰
も不平を言わず、逆に作務
など、人数が増えた分だけ
仕事が増え、一緒に修
行する者が増えることは張
り合いになると、前向きに
明るく考え、大衆一如の修
行生活だったそうです。現
在の日本社会のヒントにな
るのではないのでしょうか。

【日々精進(六)】

古くから続く行事、習慣を大切に

近藤真弘

あけましておめでとうございます。

昨年は突然の初雪が十一月の中旬に降り慌てて車のタイヤを取り替えましたがその後は比較的穏やかな日が続き、おかげで年内に境内の落ち葉もすっかり掃き終えることが出来ました。

今年も無事に新年を迎えました。今年ももう終わるな「ああ今年ももう終わるなあ」と感じます。それは初雪が降ると感じたり、クリスマスが来ると感じたり、はたまた大晦日の紅白を観ると感じたりと人それぞれあるかと思えます。

私は毎年行う年末の大掃除の日を迎えると今年ももう終わりだなと感じます。安善寺の大掃除は何人かのお檀家さんに手伝いに来ていただき、本堂から境内の大掃除をします。位牌堂のお



位牌もすべて降ろして隅々まで一年の埃を払います。

時期が時期なので本堂や境内はとても寒く、一日がかりの大変な作業ですが一年間本堂を使わせていただいた感謝の意味もこめてお手伝いの皆さんと丁寧に掃除

を行います。

例年お手伝いに来てくださる方は勝手もわかり大変助かります。

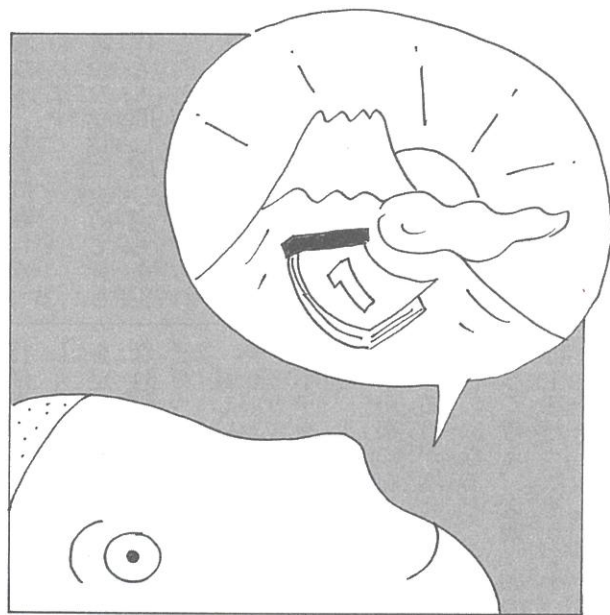
大掃除というのはほとんどの方が年末に行っていると思いますが、新しい年を迎える前に家中を綺麗にする

というのは新たな年にむけて、また新たな気持ちでスタートできる良い習慣だと思います。

習慣といえば日本には年間を通して様々な行持がありそれに伴う習慣があります。お正月から始まり、お彼岸やお盆、様々な祝日、クリスマスなど。それぞれの時期に特別な行持を行いそれぞれの習慣でその行持を迎えます。

お正月にはお餅を供えたり、おせち料理を食べたり、お盆には家族が集まりお墓参りに行ったり、クリスマスにはツリーに飾り付けをしたりと、行持とそれに伴う習慣は大抵宗教的なものに端を発していますが国民的な行持として定着しています。

当然ですがこういった行持が何もなくとも一年は過



ぎていきます。しかしこれらの行持があることにより豊かな心が出てくるのではないかとも思います。

お正月などはよい例です。大晦日という言葉がありその翌日からは新年です。暦というものがあるのでこのような特別な日になるのですが、一日が過ぎるといことは他の日と変わりません。しかし、新年になるということで自分の中で特に新たな気持ちで翌日を迎えることが出来るのです。そしてそれに伴う習慣で特別な

日を演出し、過ごすことにより、さらに豊かな気持ちでその日を過ごすことができます。

古くから続く行事や習慣、そういったものは、当たり前のように行われていきますがそれぞれの意味を考え参加し、行っていくことが大切なのではないかと思えます。この季刊誌が届くころには皆さんそれぞれの新年を迎えていると思います。今年がまた皆さんにとって良い一年であることを祈念いたします。

地球環境、そして人間を守るため

NPO地球環境クラブ 長岡事務局長 山田隆之

地球環境クラブ長の山田隆之と申します。この三月まで教員をしていました。周りの人たちに「何でや辞めたの?」「悪いことでもしたの?」など、不思議に思われました。教師も時代を担う子どもたちを育てるといふことでは意義がある仕事です。しかし、現場は多忙で、私も不摂生から糖尿病になりました。私の妻も教員で、帰ってくるのが夜の九時頃と、毎日多忙の生活を過ごしています。

「忙しい」とは「心を亡ぼす」と書くので使いたくない言葉ですが、現実はそのとおりです。まさか疲れたから保健室で休むわけにもいかない自分がいました。そんな中で本当にこれでもいいのだろうかと思えるようになり、新しい道を選ぶようと考えました。

震災のボランティアもしたかったのですが現場では忙しくてできない状況

況でした。四月に柏崎に入りましたが、もう落ち着いて、することなどないかなと思っていたら逆で、震災当時にいた多くの人が今はほとんどいない状態。地元でなく、県外の人が休みをとってきている状況でした。冬を迎えましたがまだまだ仮設住宅に入っている方が多くいる状況なのです。もう、復興したなんてまだまだです。建物はだいぶ復旧しましたが、人の心が立ち直っていないと思います。

別のNPOの方々や田町という所に集会場を作ったので、廃油ろうそく(使用済み天ぷら油で作るろうそく)を作ってきました。思っていたより多くの方々が集まりました。うれしかったのが「こんなことでもなければ会わないね」との会話でした。近くに住んでいながら、生きていくのに精一杯なのでしょう。このようにイベントを開くことにより、ろうそくのあかりだけでなく心のあかりも灯せたかなと思いました。

先日は、絵を教えていただいている先生と田町の集会所に行ってきました。前日にチラシを配布してばかりだというのに来ていただき、皆さん何かを求めているのではないかと強く感じました。その絵の先生は「人はね、優しくすると相手から優しくされるのよ」と優しく語られました。

私はそれまで自分が教師だったことを言えませんでした。教師だから先生らしくしなければと考えていました。そして「私が教師」ということでお互いに壁ができて本音が話せない状況が生まれると思ったからです。学校は世の中より、肩書きを大切にされるような所かなと思われふしもあります。

社会に出てこのNPO

に公募で面接をうけたときのことです。土建業界の社長さんたちだから、自分で勝手に、威張っているんだらうなと思っていたら違いました。本当に社会のことを考えて行動しているんです。そうでもなければ五年も前から、こんな天ぷら油で動く車に投資なんてしないと思いました。そして何が大事か、いろいろ経験させてもらいました。肩書きでなく、その人の考



あなたは どうして ますか? 捨てないで!!

私達は再利用して、CO2削減に努めます!!

てんぷら油

資源の循環を促すため、廃油を回収してディーゼル車の燃料にリサイクルします。

リサイクル燃料で走っています!

事業所等、地域でまともれば回収に伺います。

TEL: 0258-25-0230

〒940-0777 新潟県 長岡市 地球環境クラブ長岡事務局

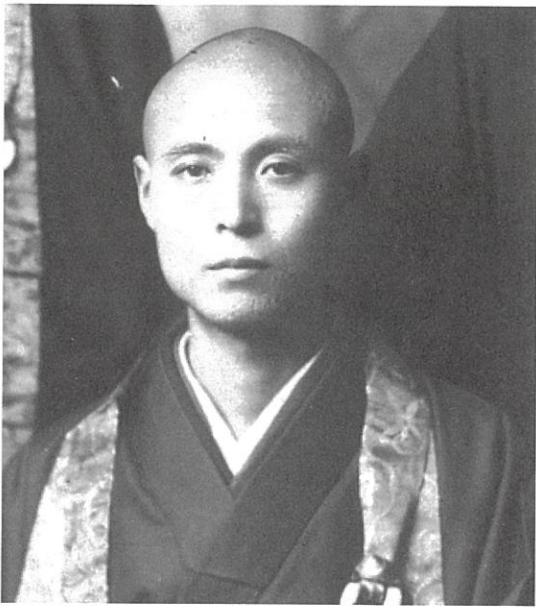
え(夢)が大事なんだと。今、大島でエコ基地を作ろうと「生ゴミでも何でも持ってきてください」と言っています。生ゴミ(ゴミとは言わない方がいいのかもしれない)別なNPO長岡地域循環ネットワーク(先日、大臣賞をもらって所です)のボランティアもやっていて、豚さんのえさにしています。

今、地球環境クラブ長岡の事務局長として何ができるか試行錯誤しながら活動しています。天ぷら油を回収するために家庭を回ると「家では火事になると危ないからあげないわよ」と

か「最後は油炒めに使っているだけ使い切るようにしているわよ」、中には油かすのように「畑にまいる」という方もいられます。なかなか集まらないのが現状ですが、天ぷら油でさえ車の燃料やろうそくなどになるのだから、家から出るものは全部ゴミでなく、資源にならないかと考える姿勢をもってもらえればと思います。そのことが社会貢献につながっていくことを願って、今「一生懸命」に活動しています。しかし、なかなか集まらないのが現状です。どうぞ回収にご協力お願いします。

二十六世重興雲巖見龍大和尚二十三回忌に寄せて 慈悲あるお言葉は今もこの胸に

長岡市長町 加瀬マサ子



若き日の前住 見龍方丈様

昭和四十四年二月、私の義母は故郷の東京へ帰る夢もかなわぬままに、長岡で死を迎えました。けれども義母はその間、心のより処として自宅近くの安善寺様へお参りに寄せていただいたように、私に「いいお坊さんで、良寛さんのような飾り気のないお方だ。この婆さんを丁寧に座敷へ案内して、ご自身でお茶とお菓子をふるまっ

くださった。私はあのお寺の檀家になる」と言ったので、安善寺様へお願いにあげりました。方丈様は、「今はお墓が

まれましたが、それを救ってくれたのは二十六世重興雲巖見龍大和尚様だったということが、死後義母の日記にしたためてありました。そして旅立ってゆきし後も、それが私たち夫婦の一筋の光明でした。墓を建てる資金がないことを方丈様に告げに行つたところ、そのお骨は安善寺でお墓が出来るまで預かってあげるの、心配しないで商売に専念しなさいと申されました。昭和四十八年七月までの四年間、安善寺様に預かっていただき、そのご慈悲あるお言葉は今も私の胸に焼き付いております。

いつも穏やかにごなた様にも平等に接していただいたお姿を忘れることはありません。またその感謝の思いが私の孫、子へと引き継がれて行くことを嬉しく思います。

読者からの便り

健体康心で過ごしたい

太刀川善之助

ある懇親会の中締めで「皆さんが死ぬまで元気でありますように」との挨拶。PPK(ピンピン生きてコロッと死ぬ)を願っている私はこの挨拶に共感！

過日、興国寺のご住職から健康とは健体康心という四字熟語の略だと教えられました。つまり健やかな体と康らかな心が揃って健康といえるのだと。

世界最長寿の日本人は平均寿命と健康寿命との間に六年余のギャップがあるとか。人の世話になる期間をどうやって短縮できるか。車の運転で紅葉マークを付ける私は、認知症と寝たきりにはなりたくないと思う。

群馬県の脳外科病院長の中島英雄先生による「笑いと健康」という講話を聞きました。医師であり、桂

文治の弟子で落語家でもあって、笑いを代替医療の一つとされ、事実、ガンが消えて治った写真も見ました。笑うと血行が良くなる、つまり脳の血流量も増えるし、組織が活性化してリラックスできる。だから良く笑う人は健康な人が多い。病気になるっても薬もよく効くし治りも早い、と科学的に証明してくださりました。反対にストレスは病気の基になることも知られています。サークル活動に参加したり、文化的な活動や運動をすることで認知症の予防にもなるそうです。

寝たきり予防のために健康クラブで週二回の筋肉トレーニング・ストレッチ・ウォーキング(有酸素運動)の三点セットの運動を二時間かけて実行することで内臓脂肪も減って体年齢、体力年齢とも暦年齢より十五歳以上若返っています。寝たきりになつて家族に介護の苦勞をかけたくないから今後もしっかり続けるつもりです。

カルチャー教室で演奏指導をしています。特別養護老人ホームなどを訪問すると、皆さん喜んでくださいます。年老いてくると脳細胞や筋肉が衰えてきますが、いろいろな刺激があることによつて脳や筋肉が活性化されて老化防止にも効果的ようです。

筑波大学大学院の久野勝也先生の指導による筋肉トレーニングは、NHKの「ためしてガッテン」で紹介されて、家内と一緒に参加しています。皆さまもいかがですか？

気分のリセットには

根岸仙一

昔はコーヒーといえばブルーマウンテンやブラジルといったイメージで、ちょっと薄暗い部屋で大人の苦味を味わうという雰囲気でしたが、今ではスターバックスなどオープンな店が増えました。一日の始まりに、これからやるぞ！ という時は大ぶりのマグカップにちよつと酸味の利いた薄めのモーニングコーヒーを...

昼休みの仮眠のありがたさはこの上ないものですが、短時間の休息でスッキリ目覚め、すぐに仕事に就くためにはコーヒー一杯を飲んでから休めば、カフェインは約十五分で吸収され二十から三十分で最高血中濃度となり、目はパッチリ、頭はスッキリとなり、覚醒効果があります。一杯のコーヒーは気持ち癒してくれ、張り詰めた緊張をときほぐしリラックスをもたらししてくれます。

日常の生活習慣としてコーヒーを飲むからと言って、カフェインの摂りすぎは禁物です。カフェインは交感神経を刺激するので体は常に活性化し続け、やがて消耗してしまいます。つまり、カフェインには適量というものがあり、摂った方がいいのですが、摂りすぎには注意が必要です。

カフェインはコーヒー、紅茶、滋養強壮ドリンク、かぜ薬など、実にいろいろなものに含まれており、そこから身体に入ってきます。人によってまちまちですが、

一日に何杯も飲む人では、医師が処方するカフェインの一日最大投与量に匹敵するので排泄機能が劣っている人が飲む場合には利尿作用による副作用(糖尿病など)には注意が必要です。

何杯も飲む代わりに、香り・コクなどの風味など、自分の好きな豆を選んで楽しむのがよいです。シンプルで何気ない生活の中で、ちよつとした気分の豊かさをもたらしてくれるコーヒーはいいですよ。

ハワイ島最高峰に登る

鈴木忠一

平成十七年四月二十一日朝、ホノルルに到着。そこで乗り継ぎハワイ島のヒロのホテルに向かう。さすが南国の楽園である。五日間分の日程について現地のガイドと夜ビールを飲み交わしながらミーティングを行った。

四月二十二日、いよいよハワイ島最高峰マウナケアに向かう。マウナケアの山頂付近には世界各国の中で世界一といわれる日本の天文台の下で昼食をとる。その

後、約四十分かけて四二〇六メートルの山頂に到達した。祭壇のある神聖な山頂からは、南方にマウナロアの巨大な山脈、北方には天文台群さらに遠く雲上にマウイ島のハレアカラ火山が望める。四二〇六メートル峰ならではの紺碧の天空。空気の透明感、宇宙に最も近い場所ではないかと感じた。



四月二十三日、今度はマウナヒロ(四一六九メートル)に向かう。約一時間専用車で溶岩で固められた道を進む。その後徒歩で約五十メートル間隔にあるケルンを目印にルートを探りなが

ら登っていく。ふと振り返るとマウナケアのパノラマが眼前に広がる。何十万年に渡って幾重にも堆積された溶岩群は、押し寄せた黒い波が一瞬重きを止めた海原を連想させる。やがて広大な火口三九五七メートルが目の前に現れる。そこからさらに巨大な火口線をたどりながらマウナヒロ山頂へ。空気が薄い。その上に太陽がキラキラと照りつける。だが満足感で一杯だった。

世界平和祈りと坐禅の体験

山崎守男

「世界平和祈りの集い」に昨年、今年とご縁があつて安善寺様によせていただきました。

この週間の意義と目的は、世界の宗教者が時を同じくして世界平和と人類の平和を祈り、「みんなと共に幸せになりたい」という願いに基づき宗教的な機縁でした。当日は心よく私共をお迎えくださいましたことに感謝、感謝でございました。仏殿、本堂に於いて住職近藤龍弘様と参加者一同で

御仏様にお参りさせていただき、次に副住職近藤真弘様より坐禅の意義や作法について丁寧なご説明をいただきました。坐禅は僧侶の修業と決めつけていた私達でしたが、副住職の解りやすく熱心な導きにホッとしました。

いよいよ僧堂にて坐禅です。坐禅のはじまりは「小鐘三声」の合図で開始でした。三十分が経過、放禅鐘の小鐘一声で足慣らし、五分後に坐禅第二回の開始、「小鐘三声」で三十分の体験後、放禅鐘一声で坐禅の終了。私は坐禅中、心の落ち着きをいただくために「警策」をいただきました。静けさの坐禅堂に響く音は心地よく身の引き締まる思いでした。また、坐禅の時に尻の下に敷いた坐蒲、丸い坐蒲団に感謝合掌、お互いに合掌感謝し、最後に住職様よりご講話をいただきました。

お釈迦様が二十九歳で出家されて悟りまでへの修業のお話や(曹洞宗)、禅は禅定であり、坐すことが禅定の始まりで出発点となることを

話され、ものごとの真実を知る智慧が大切であり、はずかしくない、自分勝手をしてない人生、そして人格完成の根本道場である家庭を整えていくことが平和への第一歩であると結ばれました。



私は世界平和祈りの週間の中で、三ヶ寺に寄せていただきました。いずれの時も、御仏様が僧侶に身を転じられて法を教えてくださいたいのだなと思わずにはいられません。教えていただいたご講話のありがたさを明日に出会う人様にお伝えすることが、具体的な平和への行動に繋がっていくことだと、喜びと感謝一杯の気持ちで帰路につくことができました。

旬歌
愁灯
[その二十]

ロシアより愛をこめて

加瀬由紀子

ひたすらある事物に没頭する人を「オタク」というのだが、そのひとつに「時刻表オタク」というのがある。私もその部類に入るようで、一時はトーマス・クック社発行の「ヨーロッパ鉄道時刻表」を購読、スウェーデンからスペインまで、机上旅行のプランを徹夜で練ったものだ。また「日本全国鉄道の旅」というテレビ番組を見て、北は宗谷本線から南国日南線まで、時刻表を赤鉛筆で結んでは消し、仕事中も白と黒の縞模様の鉄道線が頭の中を去来し、めまいがしたこともあった。

十一月のある日「名古屋に行ってもらえませんか？」高校の同窓会の中支部総会に出席予定だった同窓会長から、急用ができたので代理出席してほしい、との依頼を受けた。ウーン、ムリだ。土曜日の夕刻に総会があつて、翌日九時には三条県央センターでの会合に出席しなくてはならない。「そこを何とか、他の役員も皆都合が悪いそうで困りました。」私が主催したコンサートチケットを数枚つきあつていただいた恩義もあるし。「中部支部長はヨーロッパ旅行から帰ってこられたそう、シンプロンとか使ったそうですよ。」エエッ！シンプロン？ ヴェニス・シンプロン・オリエント・エクスプレス(VSOE)を更に略してシンプロンと呼ぶのだが、それは鉄道マニアの憧れでもある。

月桂冠に向かい獅子の金色のエンブレムも誇らしげに、ロンドンを出発する濃紺の車体はドーバー海峡を越え、パリ、ローマを経てヴェニスまで二十四時間の寝台列車の旅。それはヨーロッパの歴史と栄光をさかのぼる旅でもある。お一人様三十五万円也、アールヌーヴォーのレストランでのディナーにはタキシード、イヴニングドレス着用の規定があり、白いテーブルクロスにはクラシックなシェードのスタンドが灯され、



古き佳き時代へと乗客をタイムスリップさせるのだ。アガサクリステイの小説やイアンフレミングのジェームズボンドシリーズの舞台としても知られている。「ロシアから愛をこめて」を口ずさみながら、電話をする。「行かせてもらいます！」。

問題は翌日の三条の会議だ。得意の時刻表をチェック。思案の末、マイカーで長岡から三条へ、そして会場の三条県央センターに車をおかせてもらい、徒歩五分の燕三条駅から新幹線に乗車、東京駅で東海道新幹線に乗り換えて十六時には名古屋着、総会に出席。二次会終了後、名古屋駅を二十二時四十分に出発する新潟駅行き夜行長距離バスで翌日早朝五時に高速道路の燕三条バス停に下りて、県央センターまで五分ほど歩き、駐車しておいたマイカーで仮眠。九時の会合に出席というハードスケジュールを決行することになった。

東京駅での乗り換えも素早く、名古屋駅に到着。ここで新幹線の乗客の殆どが降りる。名古屋駅で少々時間があつたので、立ち食いの味噌煮込みうどんを食べる。美味くない。夫が名古屋出身という友人宅で食べたそれは、肉、サトイモ、シイタケ、筍など、野菜たっぷりでダシのきいた八町味噌がうどんなにしみておいしいのに。

シンプロンのディナーと立ち食い煮込みうどんの落差を感じつつ、彼女にメールすると「味噌煮込みうどんときしめんとイケメンは長岡が一番ダニャア！」と訳の分からないメールが返ってきた。

シンプロンは陸の豪華客船、アラブの王族や英国の大学教授夫妻と同席されたなどと中部支部長のセレブな話にうっとりして二次会も無事終了。

ホームレスや訳ありカッブルで怪しくなってきた名古屋駅に戻り、深夜バスに乗り込む。車内は真ん中に一列、両側通路をはさんで窓側に一列ずつの三列。しかもフルリクライニングでトイレもある。途中四箇所のパーキングに立ち寄るので、気分転換も可能。カーテンで外側を遮断、大きな毛布やお茶も無料で利用できる。なかなか快適で、若い女性やセールスマンが多い。

シンプロンと格安深夜長距離バス。これぞ現実格差社会の象徴などと思いたが眠りについたのだった。

天国から見守つていきます

ペコのひとりごと



皆様、今年は穏やかにとはいかないようですが、新たな気持ちで新しい年をお迎えになられた事と思います。私ほど申しますと、平成十一年から三十数回にわたる皆様に「独り事」をお伝えしてまいりましたのに、お別れするのは本当に忍びなかつたのですが、平成二

十年十一月二十五日に家族に看取られ、幸せな一生を終えました。平成元年にお寺の子供達が公園に捨てられていた私をお寺に連れてきてくれたから二十年、皆に本当に可愛がられ、お檀家の皆様にも優しいお声をかけていただき幸せそのものでした。

今思うと二十年といういろいろな事がありました。私が来てから本堂の大改修があり、工事のところを興味本位で点検したものです。本堂が出来上がった年にお寺のお祖母ちゃんが亡くなりました。そして、翌年にはお姉ちゃんが大学進

晩年はあまり人前には出なくなりりましたが、お別れする一週間位前までは、時折下に降りて行って、住職やお母さんに会えるのが、楽しみでした。私はわからなかつたのですが皆に最後のお別れをしていたのかも知れません。そういう日は決まって「今日、ペコが玄関のところに行ったのよ！」って言うお母さんの声から聞かえてきました。私のことそんなに気にかけていてくれたのかなと幸せな気分になつたものです。

学のために長岡を離れていき、賑やかだったお寺もだんだんと寂しくなり、一時は八人家族だったのに住職とお母さん、それに私とで「二人と一匹」になつた事もありませんが、用心が悪いとの事で「サクラ」が仲間入り、最初はストレスで痩せてしまいました。私の一生で忘れられないことは「中越地震」です。怖くて必死に逃げた所が稲荷堂の縁の下、揺れる恐怖で身じろぎもしないでいたら、何時の間にか十日位経ってしまったようです。一生懸命探してくれた子供達に又も助けてもらいました。これからは天国から皆様を見守つていきたいと思つております。ニヤーン！

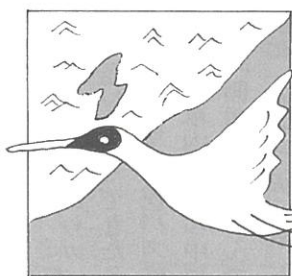
おわり

編集 雑感

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は米国発のサブプライムローンの破綻、原油高、物価の下落と正に世界経済は最悪の状況でした。そして、振り込め詐欺や、通り魔的な事件など、本当に人間が人たる心はどこに行つてしまったのだろうと思われる出来事が数多く伝えられ、残念な一年だったと思います。

り心から祝福されて胴上げされていた光景には心暖まる思いをさせられました。そして遼君は失敗を恐れず、今出来ることを最大限に出して挑戦していく、失敗しないよう練習を重ねていく、という言葉にも爽やかさを感じさせられました。



しかし、ノーベル受賞者が三名も日本人より輩出されたこと、スポーツでは若者が活躍中で、ゴルフの石川遼選手が高校生でありながら最年少獲得賞金一億円突破という偉業を成し、ツアー最終日には先輩プロゴルファーの人達よ

県内では佐渡にトキが放たれて元気に飛び回り、海を渡つて関川や新潟市付近にでも見られたとのこと。大変面白いニュースです。この冬、上手に餌を見つけて暖かい春を迎えられることを、そして私達も大空に舞うトキを見ることが出来ることを願つて、心穏やかな正月を過ごしたいと思ひます。

高橋利春

お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。
- 嬉しい・楽しい／嬉しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

第四十五号、春号は平成二十一年三月十日(火)発刊予定です。